

経営比較分析表

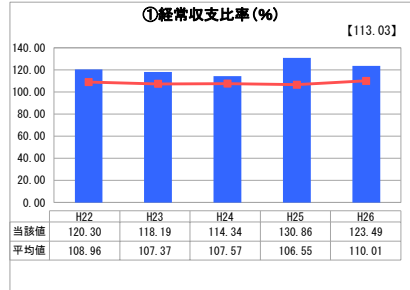
岐阜県 安八町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.59	100.57	2,160

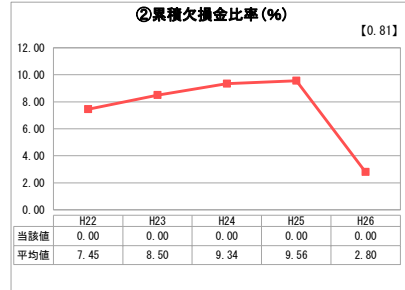
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,248	18.16	839.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
15,282	18.30	835.08

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

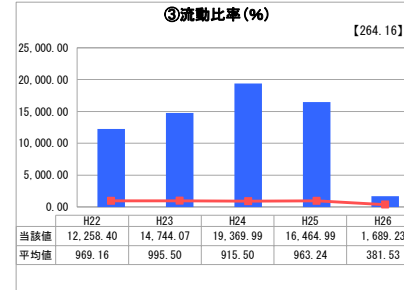
1. 経営の健全性・効率性



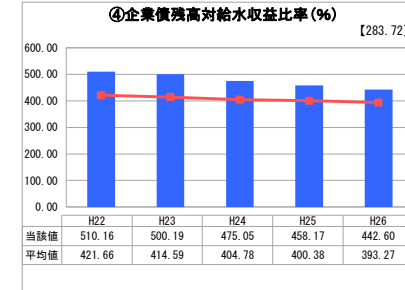
「経常損益」



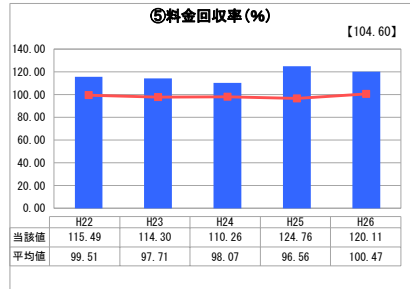
「累積欠損」



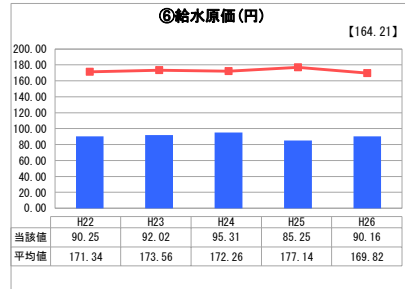
「支払能力」



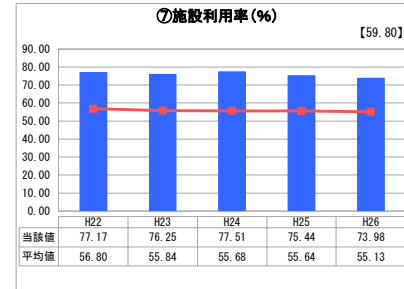
「債務残高」



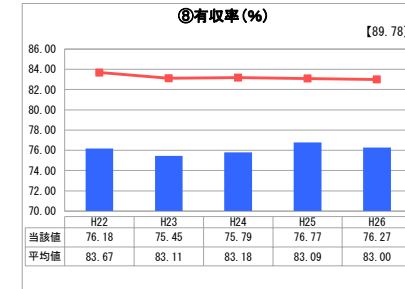
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

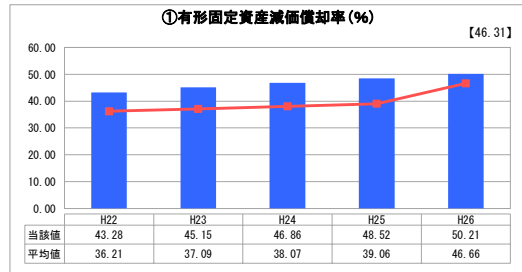


「施設の効率性」

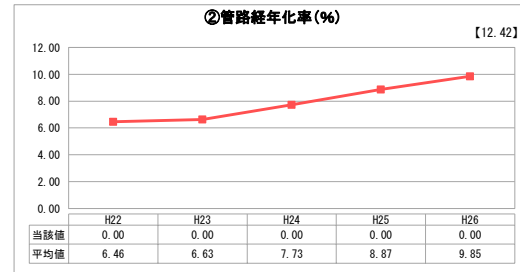


「供給した配水量の効率性」

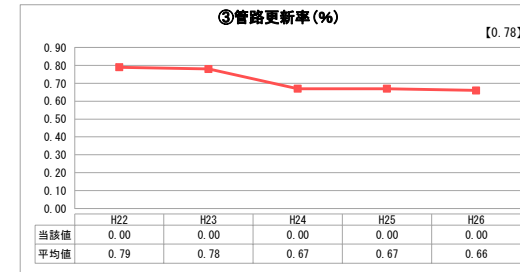
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

現状については、経常収支比率及び料金回収率が100%を超えており、累積欠損比率も0%である。また、清浄な地下水を水源としているため給水原価も低い。

流動比率においては、平成26年度の公営企業会計の改正により大幅に減少しているが、経営の健全性に影響を与えていない。

企業債残高対給水収益比率においては、平成5年度から平成21年度かけてに施工した管路布設替えの財源として企業債の借入れを行ったため、高い水準にあるが、経営に影響を与えるほどではない。

上記のことにより経営状態としては全く健全であることが推察される。

ただし、有収率が類似団体平均より低いため管路での漏水等が疑われるので、管路の漏水調査を実施予定である。

2. 老朽化の状況について

現有の管路及び配水場等施設について、近々法定耐用年数を迎える。

今後、計画的な管路及び施設の更新を行うため、管路及び施設の更新計画を策定し、更新工事を実施していくことが必要である。

全体総括

現状での経営状況についてはほぼ問題ないといえるが、今後の耐用年数を迎える管路及び配水場等施設の更新のために莫大な費用が発生する。

そのために現在策定中の水道事業基本計画に続き、管路及び施設の更新計画を策定し、更新工事を実施していく必要がある。

また、更新工事の財源としては自己資金及び起債が中心となるが、それでも財源不足に陥る場合は水道料金改定の検討も必要である。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。